

乳がんと言われたら、アメリカ？日本？

乳がんは、日本人女性の12人に1人がかかると言われています。

日本人女性が一番多くかかる癌疾患ですが、治療へのアプローチは、一人ひとり、まったく違います。

アメリカで治療するのが良いのか、日本の方が良いのか。

そこで、一般的な日本とアメリカの医療事情の違いなども踏まえて、

体験者のみなさんとそれぞれの選択についてディスカッションをします。

ゲスト講師: 真水美佳 (日本在住)

SHARE日本語プログラムコミティーメンバー、
NPO法人E-BeC理事長: 乳がん体験者コーディネーター

日時: 4月22日(金曜日) 10時~12時

会場: SHAREメインオフィス
165 West 46th Street, Suite706
New York, NY 10036
(写真付き身分証明書要)

参加費: 無料

企画: SHARE日本語プログラム / sharejp.org

協力: ニューヨーク日系人会

DEDICATED EXPERIENCED SUPPORT

SHARE

for women facing breast and ovarian cancers

参加ご希望の方はお電話からEメールにてご連絡ください。(当日参加可能)

電話: 917-686-0671または 917-528-4118

Eメール: contact@sharejp.org